

1. 動植物園マスタープランの主な施設整備について

①植物ゾーンエントランスと(仮)水辺のインフォメーションセンター

**“緑”や“水”を感じる
開放的な空間**

→樹木を植栽して緑陰を確保
→“水”を感じる施設を設置



〈エントランスのイメージ〉

**江津湖の情報を
“集積・発信”する拠点**

→自然や暮らし、文化の展示
→自然環境の学習コーナーの設置



〈江津湖の生物水槽 ※動物資料館〉

②正面ゲートリニューアル

動植物園の新たな“シンボル”

→江津湖の美しい景観と調和したガラスの外壁
→利便性や快適性、機能性を高めた屋内空間



③花の休憩所

“動物”と“植物”の融合

→温室内に動物を展示、樹木の整理
→展示、休憩スペースの充実



〈現在の大温室〉

④植物ゾーン展示改修(四季の花木園)

四季を通じて楽しめる‘花’と‘緑’の空間

→園路の改修
(植物ゾーンのメインストリート)
→大花壇の拡張
→バラ園・梅園の再整備
→時計塔と花木園の調和



〈大花壇のイメージ〉

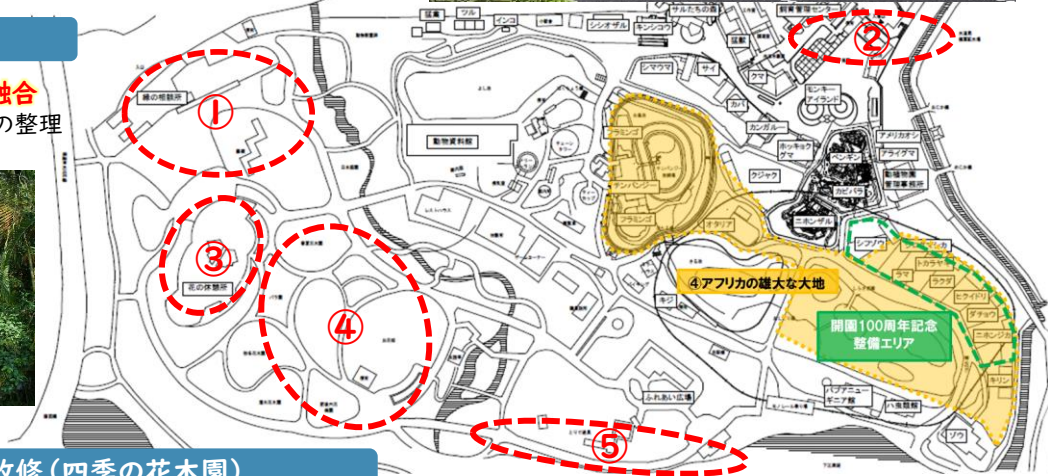
⑤展望デッキの設置

江津湖を眺める絶景のビュースポット

→江津湖との一体感、江津湖と調和したデザイン



〈展望デッキのイメージ〉



2. 動植物園マスタープラン推進経費について

項目	概算事業費 (千円)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
【中期整備】 ・100周年記念整備エリアの整備 ・いきもの学習センターの整備	1,603,000										
【短期整備】 ・正面ゲートリニューアル ・園路、トイレ改修、照明改修 ・遊戯施設の導入 ・ベンチ、サイン ・植物園の再整備 等	1,661,000										
【長寿命化対策関連】	874,000										
概算事業費計(千円)	4,138,000										

※概算事業費については、計画策定時に試算した金額であり、確定した金額ではない。